

JUNKU 連続トークセッション

緊急決定！ 2012年3月2日（金）19：30～

「劇震、唐十郎と語る」

樋口良澄著『唐十郎論 逆襲する言葉と肉体』刊行記念

唐十郎（劇作家・演出家・俳優）

×

樋口良澄（編集者・評論家）

『下谷万年町物語』、『風のほこり』、そして4月唐組公演の新作『海星』。1月初頭から唐十郎戯曲の公演は次々と続く。1960年代から紅テントをひきいて100本以上の戯曲を発表、劇作家・小説家・演出家・俳優としても活躍する。この世界にもまれな鬼才を『唐十郎論』で鮮やかに読み解いた樋口良澄が、唐十郎本人を招き、現在の状況と表現をめぐって徹底的に語り合う。いま、演劇とは？ 言葉と肉体はどこにあるのか。東日本大震災以後をどのように語りうるのか。閉塞する現代日本の中で、表現することの可能性はどこにあるのか。現在を生きる手ごたえを熱く語り合う、必見の一夜となるでしょう。

講師紹介

唐十郎（から じゅうろう）

1940年東京下谷万年町生まれ。明治大学演劇学科卒業。劇作家、小説家、演出家、役者、映像作家等々、多様な分野で活躍。常に新たな状況を問い続ける表現者。1963年劇団・シチュエーションの会を結成。のち、状況劇場と名を変え、座長となる。1970年『少女仮面』で岸田國士戯曲賞、1983年『佐川君からの手紙』で芥川賞、2004年『泥人魚』で紀伊國屋演劇賞、鶴屋南北戯曲賞、読売文学賞を受賞。2012年1～2月『下谷万年町物語』を蜷川幸雄演出で30年余を隔て再演、当時と同じ役で出演した。

樋口良澄（ひぐち よしずみ）

1955年生まれ。編集者。雑誌『現代詩手帖』、『文藝』などの編集に携わる。主な著書に『木浦通信』（矢立出版、吉増剛造との共著）、『東京情報コレクション』（講談社、共著）など。唐十郎論に「くまなざし」の迷宮」（『風のほこり』所収、右文書院）、「照応する言葉と肉体」（『藍BLUE』、『藍BLUE』文学会）など。詩誌『ミテ』に評論「モダニズムの失われた輪」を連載。

- ▽ 会場 … 4階喫茶にて。入場料1,000円（ドリンク付き）
- ▽ 定員 … 40名
- ▽ 受付 … 1階 案内カウンターにて。お電話でのご予約も承ります。

ジュンク堂書店 池袋本店

TEL. 03-5956-6111 FAX. 03-5956-6100